

問い合わせ先

海洋情報部監理課

監理課長 米須 清

TEL099-250-9800(内線 2510)

平成19年9月6日

第十管区海上保安本部

## 第136回水路記念日記念行事について

第十管区海上保安本部では、第136回水路記念日の記念行事として、職員及び関係者を対象に、十管区本部金澤次長による記念講演（演題「今世紀最大の皆既日食と暦の話」）を開催します。

### 1. 水路記念日について

1871年（明治4年）9月12日（新暦換算）、明治政府は兵部省に海軍部及び陸軍部を創設し、海軍部に、現在の海洋情報部の前身である水路局を設置しました。この日をもって、水路記念日と決めました。

### 2. 記念講演会について

2009年7月22日に、トカラ群島を中心に皆既日食が起こります。皆既日食がどのように起こるのか、その仕組みや観望の参考となる情報について、講演します。

- (1) 日 時 平成19年9月12日（水）15：30～16：30
- (2) 場 所 第二地方合同庁舎2階共用会議室
- (3) 講 師 第十管区海上保安本部次長 金澤 輝雄
- (4) 演 題 「今世紀最大の皆既日食と暦の話」

※ 講演会聴講ご希望の方は、9月10日（月）17時までに、上記問い合わせ先あて、ご連絡下さい。

### 3. 海洋調査体験航海について

十管区管内の海図作成や航行安全のための水路測量や海流観測等に従事している測量船「いそしお」による「海洋調査体験航海」を実施します。

- (1) 日 時 平成19年9月11日（火）13：30～15：00
- (2) 海 域 鹿児島湾内（鹿児島新港いそしお栈橋に集合）
- (3) 対 象 報道関係者

- (4) 内 容
- ① 海洋情報業務及び体験航海の概要説明
  - ② 測量船搭載観測機器の説明
  - ③ 海底地形の調査
  - ④ 海の流れの観測

※ 体験航海ご希望の方は、9月6日(木)17時までに、上記問い合わせ先あて、ご連絡下さい。

測量船「いそしお」



- 総トン数: 約27トン
- 主要寸法 (全長×巾×深): 21.0×4.5×2.4m
- 速力: 15ノット
- 航続距離: 200海里

## ※参考

### 1. 我が国最初の海洋調査機関

今から136年前の明治4年9月12日(旧暦7月28日)、明治政府は兵部省に海軍部及び陸軍部を創設し、海軍部に水路局を設置しました。明治維新前後の時期においては、我が国沿岸の測量はイギリスをはじめとする諸外国により行われており、明治政府は、海運立国を国政の方針とし、また、国防的見地からも沿岸の測量や海図の刊行にいたる一連の業務を最も緊急の事業としていました。

海軍水路局は、現在、海上保安庁海洋情報部として生まれ変わり、海図作成業務のほか、大陸棚画定調査、地震予知・火山予知調査、マリンレジャーの普及に応えた情報提供など、海洋に関するさまざまなニーズに対応しています。

### 2. 海洋情報部の組織の変遷

明治 4年 (1871年)	兵部省海軍部水路局 (築地)
明治 5年 (1872年)	海軍省水路局
明治19年 (1886年)	海軍水路部
明治21年 (1888年)	水路部 (海軍の冠称を廃す)
昭和20年 (1945年)	運輸省水路部
昭和23年 (1948年)	海上保安庁水路局
昭和24年 (1949年)	海上保安庁水路部
平成14年 (2002年)	海上保安庁海洋情報部

### 3. 第2代・第4代水路部長 肝付兼行(1853~1922)について

明治21年6月、初代水路部長柳橋悦(やなぎならよし)の跡を継いで、鹿児島県出身の肝付兼行が第2代水路部長に就任しました。(当時の海軍大臣は、西郷従道)

肝付兼行は、観象台の業務や全国海岸測量の実施など、就任時における功績は水路業務史上特筆されるほど大きいものでした。この在職中の功績を記念するため、その手で測量され刊行された海図一揃いを薄紙刷りにして、肝付兼行に寄贈しました。

ところが、その死後、大正12年9月の関東大震災により水路部所有の海図が類焼したため、これを聞いた遺族肝付兼英が、寄贈を受けた一揃いを再び水路部に寄贈することとなりました。水路部は、当時すべての資料を失っていたので、これが貴重な海図となり、今日でも「肝付海図」とし

て大切に保管されています。



#### 略 歴

幼名 江田船太郎 明治2年（17歳）から  
北海道開拓史、明治5年水路局に入り海軍中尉  
大伴兼行を名乗る。水路部長、海軍大学校長を  
歴任し、退役後の大正2年には大阪市長、大正  
11年70歳で没。